

(給水側)



(排水側)



▲住民から汚水排出通報があった(旧)北小浄化槽

(旧)北小浄化汚水排出は

答弁 = 詳細な報告は受けてない

2月27日に浄化槽の処理水を植木にやったりしたと聞いている。3月2日に県に問い合わせている。その後は詳細な報告も受けていないし、確認も済んでいない。県が行った工事であり、町は取り壊しを承諾しただけである。

答弁II 大北統括

2月27日に浄化槽の汚水をグラウンドの排水路に排出していたとの通報が住民からあったが、県から報告は受けている。同日、議員4人も現場で流出の確認をしている。3月末までは町の財産であるが、管理責任は。



住民クラブ代表

小西 茂行

土山駅南の整備は

①はりま病院との、賃貸借による基本的合意の詳細は。病院誘致にかかる町の設備投資は、駐車場などないか。
②開発事業の全体構想はどうなるのか。

答弁II 清水町長、三村統括町の設備投資はしない

①5500㎡に4階建て、4診療科目、99床、人間ドック、二次救急病院として開院予定。鑑定価格に基づき賃貸借契約を交わす予定。町は病院用の駐車場など、設備投資は考えていない。②具体的な利用計画はまだない。暫定的利用として軽スポーツなどを対象としている。

答弁II 清水町長

「発言とは思っていないねいな言葉で申し上げているので、発言だとは思っていない。休憩中のことでありこれ以上のコメントは控えさせていただきます。」

町長の暴言への対応は

3月定例会休憩中議場で、議員に向かって「3月補正予算を知っているのですか、お勉強しなさい」と侮辱する暴言を吐かれた。冷静さに欠けた発言であり、どのような状況でも許されるものではない。発言の見解は。また議員からの抗議と謝罪を求める本会期中での「回答申入書」への対応は。



▲定員削減のなかで住民との対応に忙しい職員

行革の達成見込みは

答弁 = 定員数は再検討が必要

安全安心の確保は

小中学校の耐震化工事

しかし職員数171人の目標は職員の年齢構成、業務量などから定員数は再検討が必要。

答弁II 清水町長

①定員適正化、②高齢層職員の昇給抑制、③時間外勤務手当の削減、④税徴収率の向上、⑤経常収支比率の抑制、の5項目に数値目標を掲げて挑戦しており、ほぼ目標を達成できる見込み。



自治クラブ代表

毛利 豊

行政改革集中プランは5カ年計画で数値目標を掲げて取り組んでいるが、21年度は最終年度になる。その達成見込みは。また、二次救急病院の誘致が決まるなど、安心な町づくりが進められている。

答弁II 清水町長 警察分署の誘致は困難

大型交番の設置と警察官の増員を県に要望しているが、現時点では誘致は難しい状況。住民の自衛組織づくりの支援や防犯についての啓発など、犯罪を少なくする運動を進めたい。

環境施策の取り組みは

環境施策の一環として、ごみの分別と減量化を進めているが、現状の取り組みでは不十分、ごみの有料化など施策が必要ではないか。

また、太陽光発電の設置費援助と、発電された電力の買取り補助制度をすすめる政策の導入は。

答弁II 清水町長 有料化には時間が必要

可燃ごみの有料化は近隣市町との広域の取り組みが必要であり、住民の理解も得なければならぬので、まだ時間が必要。また、太陽光発電の推進計画も、もう少し時間をかけて検討したい。